

事業所名:グループホームかわばた

作成日:平成23年2月12日

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	職員全体に共有と実践が理解されていません	1. 職員全体で話し合いもう一度わかりやすい理念の作り直しをする。 2. そして理念がケアに反映できるように取り組む	1. 職員間で共有できるように話し合う時間を設ける。 2. 職員会議とは別に利用者についての問題点等を話すカンファレンスを持つ事にしました。	6か月
2	2	実践されていない状態です。	1. 当面の課題として当グループホームに住民を集めるようにして行く	1 診療病棟からの転換型を利用し1階の診察室部分を開放する。 2. 経営者と話し合う。	3か月
3	4	市職員、包括センター両者が欠席することが続いています。	1. 出席してもらう様をお願いしていきます。	1案内を出した後、当方から連絡を取るようになる。	2か月
4	26	一方的なものになっています。	1. 利用者、家族からの要望・意見を聴き、職員全体で話し合い、ばらつきのないケア、計画を作り上げていく。	1. 定期的にケア・カンファレンスを、利用者単位で、又、時には家族も混じえて開催していく。	6か月
5	36	職員個々にばらつきがあります。 ※例えば、排泄にしても他の利用者の居前で声掛けをしている。	1. ばらつきのないケアをする。 2. 利用者的人格・プライバシー・権利を尊重していくケアをする。	1. やはり立場を置き換えて、自分だったらどのように思うか！感じるか！それぞれ職員の課題として取り組む。 2. 利用者のプライバシー・権利を尊重する、守るとはどんなことか研修・ミーティングを開催していく。	6か月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。